

病態制御医学講座／小児科学分野 附属病院／小児科 総合周産期母子医療センターNICU/GCU

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	大嶋勇成	1998年9月- (2010年11月-現職)
講師	川谷正男	2003年4月- (2011年3月-現職)
講師	安富素子	2009年4月- (2015年6月-現職)
講師	鈴木孝二	2009年4月-2010年3月、2012年4月- (2019年4月-現職)
助教	巨田元礼	2014年4月-2020年3月
助教	奥野貴士	2012年4月- (2015年6月-現職)
助教	川崎亜希子	2014年6月-2017年3月、2017年4月- (2019年4月-現職)
助教	五十嵐愛子	2015年7月- (2017年8月-現職)
助教	吉川利英	2017年4月- (2019年3月-現職)
特命助教	湯浅光織	2017年8月-
特命助教	林 泰平	2019年4月-

2. 研究概要

研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科・総合周産期母子医療センターで実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「神経・発達・子どものこころ・成育・保健部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「腎・泌尿器部門」の6部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施した。□

(免疫・アレルギー部門)

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している。科学研究費補助金・基盤研究(C)「ナノ粒子を利用した食物アレルギーの経皮免疫療法」(研究代表者)、科学研究費補助金・若手研究(B)「皮膚免疫応答の制御による、食物アレルギーの感作抑制と免疫療法への応用」(研究代表者)、を行い、小児アレルギー性疾患の病因病態の解析、食物アレルギーに対する経口減感作療法における耐性獲得機序の解明や治療法決定基準の開発研究、食物アレルギーの新規治療法の開発、気管支喘息における気道リモデリング機序の解析とバイオマーカーの開発を行った。また、Allergy International編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員長、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員、好酸球性消化管疾患ガイドライン統括委員などの活動を通じ、我が国の食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。原発性免疫不全症や小児膠原病、炎症性腸疾患、自己炎症性疾患の病態解析を行い、治療成績の改善につなげている。また、アレルギー疾患対策拠点病院として福井県における食物アレルギー対応の手引きの普及に貢献し、附属病院看護部所属小児アレルギーエドゥケーターとともに患者、医療関係者に対する啓発活動を行い、その活動は厚生労働省のアレルギー疾患対策道庁県拠点病院モデル事業に採択された。さらに、大学教育再生戦略推進費課題解決型高度医療人材養成に北陸高度アレルギー専門医療人育成プランが採択され、アレルギー診療に携わる医療人育成の教育プログラム開発を行っている。

(神経発達部門)

小児神経・筋疾患、神経発達症の病因・病態の解明、有用な診断法の開発と有効な治療や療育法の開発に関する研究を実施している。科学研究費助成金(基盤研究C「キレる子どもの神経基盤の解明と有効な包括的支援システムの構築(研究代表者)」、基盤研究C「発達性ディスレクシアの神経基盤の解明と早期発見・介入の試み(研究代表者)」)、若手研究「胎児・新生児期の生体リズム評価による自閉スペクトラム症の病態の解明(研究代表者)」などの援助を受けて、小児の神経発達症の病態解明や診断に有用なバイオマーカーの開発、神経発達症とその家族(特にきょうだい)に対する有効な支援方法の開発、神経発達症を対象とし非線形解析やネットワーク解析を用いた発達障害における脳内神経ネットワーク障害の解明、発達性ディスレクシアに対する早期介入の試み、睡眠障害のある神経発達症の評価と早期介入の試み等を行い、その成果を国内外の専門学会に報告してきた。また、福井県で唯一の日本小児神経学会小児神経専門医認定施設として、希少疾患や難治性疾患の診断や治療を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。福井県内の小児神経専門医を志す若手医師育成や専門的な指導を行うために、小児神経に関する画像、脳波、臨床遺伝の勉強会を定期的に開催し、公立小浜病院や市立敦賀病院で小児神経・精神疾患の専門外来を開設することで福井県内の小児神経の専門的診療ネットワークを構築している。神経発達症などの小児精神疾患に関しては、附属病院子どものこころ診療部、福井県内の療育機関、教育機関や行政機関と連携を取りながら、発達障害の診断、治療や専門医師の育成に力を注いでいる。2019年度は福井県小児科医会、福井県や越前市の行政、福祉機関と連携し、福井県における発達障害診療体制について検討を行い、越前市をモデル地区とした支援者養成の研修会を開催した。小児での試験推進にも積極的に取り組んでおり、小児の神経発達症や睡眠障害を対象とした臨床試験を行っている。□

(血液腫瘍部門)

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解明と治療法の開発に関する研究を実施している。日本小児がん研究グループ(JCGG)の参加施設として、白血病・悪性リンパ腫などの造血器腫瘍、神経芽腫などの固形腫瘍について最新の臨床治療を行うと共に、再生不良性貧血や免疫不全症などの非腫瘍性疾患も含めた難治性疾患の治療も実施している。日本骨髄バンクによる移植認定施設として、非血縁者間同種造血幹細胞移植に取り組み、小児がん拠点病院の連携病院として地域における小児がん診療の中核を担っている。

JCGG血液腫瘍分科会の臨床試験である、「初発慢性期および移行期小児慢性骨髄性白血病を対象としたダサチニブとニロチニブの非盲検ランダム化比較試験

(JPLSG-CML-17試験)」の研究事務局として、全国からのデータ収集や試験の進捗状況・安全性評価などを行っている。また、JCGG専門委員会では支持療法委員として小児がん治療のための支持療法に関する研究・調査および指針の策定に関与している。

基礎研究に関しては、難治固形腫瘍に対する新規免疫療法の開発を目指し、神経芽腫細胞株を用いて、ナノ粒子を用いたレチノイン酸のドラッグデリバリーに関する研究を行っている。

(胎児・新生児部門)

胎児・新生児の生理および病態の解明と難治性疾患に対する効果的治療法の開発を目指した研究を行っている。新生児のPIカテーター関連の血管炎について臨床研究を行い、PIカテーター管理方法の注意点を明らかにするとともに、アミノ酸・アンルカルニチンプロファイルを用いた未熟児のアミノ酸・脂質代謝の検討を行い、未熟児の栄養管理法について研究を行っている。また、重症新生児仮死に対する低体温療法、絨毛膜羊膜炎と慢性肺疾患に関する多施設共同研究に参加している。日本周産期・新生児医学会の専門医研修施設として新生児専門医の育成にあたり、日本周産期・新生児医学会公認の新生児蘇生法の普及に努めており、新生児蘇生法講習会を主催しインストラクターを派遣している。

(内分泌・代謝部門)

先天代謝異常症・小児内分泌疾患の病因・病態解明と診断・治療法の開発に関する研究を実施している。わが国における先天代謝異常症化学診断の中心施設として、全国各地の医療機関研究機関からアンルカルニチン・アミノ酸・有機酸分析の依頼を受け付け、多数の脂肪酸代謝異常症・アミノ酸代謝異常症・有機酸代謝異常症患者の化学診断に貢献している。また、各地の自治体・検査機関でのスクリーニング精度管理および陽性判定法を検討し、運用に関する支援を行っている。

2019年度も引き続き、新生児マススクリーニングにおいて多発する偽陽性例に対応するための診断法の開発・改良に関する研究を行った。科学研究費助成金・若手研究「脂肪酸酸化異常症代謝プロファイル解析による高精度診断法の確立(研究代表者)」、「脂肪酸酸化能検査法を応用した長鎖脂肪酸酸化異常症の重症度・治療有効性判定法の確立(研究代表者)」を実施し、成果を学会で報告した。これらの研究で「脂肪酸酸化能検査(末梢血を用いた脂肪酸代謝異常症の診断法)」を確立した。現在県内外の施設から本検査の依頼を受け、診断支援を行っている(2019年度実施件数:17件)。

さらに、福井県小児糖尿病サマーキャンプを開催して小児糖尿病患者への療養教育を行った。また、小児の成長や糖尿病に関する知識を普及する活動として、県内の医師・看護師・栄養士・学校関係者を対象とした講習会などを行った。

(腎臓部門)

小児の腎・尿路疾患における早期診断並びに効果的治療法の開発、改善を目指した研究を行っている。胎児・新生児・未熟児部門と共同で、未熟児・新生児の尿検体を用いて腎障害の早期発見に有用なバイオマーカーを検討している。小児ネフローゼ症候群児の唾液中の再発予測マーカーを検討している。CAKUT (congenital anomalies of kidney and urinary tract) に対しては、胎生期からの効果的な介入方法を検討している。2018年より福井県小児腎疾患症例検討会を開催し、福井県下での学校検尿有見者に対する二次精密検査の標準化プロトコルの作成を行った。2019年4月より福井県版学校検尿システムを始動させ、有見者に対する対応の統一を図った。今後システム上の問題点・不具合などを抽出し、2020年度以降に反映していく。

キーワード

小児科学, 自己免疫疾患, 自己炎症性疾患, アレルギー性疾患, 膠原病, 感染症, 原発性免疫不全症, 炎症性腸疾患, 血液疾患, 造血器腫瘍, 固形腫瘍, 代謝異常,

特色等

小児科学の各専門領域で優れた研究を実施し、その成果を国内外に発信している。同時に、小児アレルギー疾患の治療ガイドラインの策定や先天代謝異常症のマス・スクリーニング、発達障害のきょうだい支援体制の構築など、近年社会的に問題となっている疾患の診療・予防・管理に直接結びつく研究を継続して行っている。福井県の医療・保健行政に対し、関係する各種委員会の委員として参加することにより貢献している。免疫・アレルギー部門は、附病院が指定を受けたアレルギー疾患対策拠点病院として患者、医療関係者に対する啓発活動などを通してその中心的役割を担っており、その活動は厚生労働省のアレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業に採択された。さらに、大学教育再生戦略推進費課題解決型高度医療人材養成プログラムに北陸高度アレルギー専門医療人育成プランが採択され、アレルギー診療に携わる医療人育成に努めている。血液・腫瘍部門は福井県唯一の骨髄移植認定施設として、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は総合周産期母子医療センターのNICU/GCU部門として超未熟児に対する優れた治療成績を上げており、日本周産期・新生児医学会認定の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行うとともに県内の新生児医療ネットワークの運営に携わった。神経・発達部門は小児科の積極的な関与が求められる「発達障害」や「こころ」の問題を抱える児に対する支援を、治験・臨床試験の推進、地域との学際的・有機的な連携のもとに、積極的に行っている。腎・泌尿器部門は福井県医師会と協力して構築した福井県内の学校検尿精密検査体制の運営に中心的役割を果たした。このように、小児科学・小児医療の多くの分野で、社会に大きく貢献している。

本学の理念との関係

小児科学領域は、上述の研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端的医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文	7		—	
英文論文	ファーストオーサー	4	6.279 (6.279)	
	コレスポンディングオーサー	4	6.279 (6.279)	
	その他	2	5.399 (5.399)	
	合計	6	11.678 (11.678)	

(A) 著書・論文等**(1) 英文：著書等****a. 著書****b. 著書（分担執筆）****c. 編集・編集・監修****(2) 英文：論文等****a. 原著論文（審査有）**

1931001 Itoh N, Murai H, Kawasaki A, Suzuki K, Ohshima Y: Eosinophilic gastroenteritis developed after remission of cow's milk allergy. *Pediatr In*, 62 (2), 233-234, 20200203, DOI: 10.1111/ped.14078 (症例報告), #0.939

1931002 Yamada K, Shigemitsu H, Suzuki K, Yasutomi M, Iwasaki H, Ohshima Y: Successful management of a *Bacillus cereus* catheter-related bloodstream infection outbreak in the pediatric ward of our facility. *J Inf Chmother*, 25(11), 873-879, 201911, DOI: DOI: 10.1016/j.jiac.2019.04.013, #1.539

1931003 Hosokawa Y, Higuchi S, Kawakita R, Hata I, Urakami T, Isojima T, Takasawa K, Matsubara Y, Mizuno H, Maruo Y, Matsui K, Aizu K, Jinno K, Araki S, Fujisawa Y, Osugi K, Tono C, Takeshima Y.: Pregnancy outcome of Japanese patients with glucokinase-maturity-onset diabetes of the young. *J Diabetes Investig*, 10(6), 1586-1589, 201911, DOI: 10.1111/jdi.13046, #3.902

1931004 Shigemitsu Y, Yuasa M, Hata I, Nakajima H, Tajima G, Ishige N, Fukao T, Maeda Y: 2-Methylacetoacetylarnitine in blood of betheketothiolase deficiency and HSD10 disease. *Med Mass Spectr.*, 3(1), 43-47, 201906, #2.045

1931005 Tamura A, Nino N, Yamamoto N, Naito A, Matsubara K, Nakatani N, Ichikawa T, Nakamura S, Saito A, Kozaki A, Kishimoto K, Ishida T, Shigemitsu Y, Hasegawa D, Kosaka Y: Vitamin B12 deficiency anemia in an exclusively breastfed infant born to an ileum-resected mother. *Pediatr Neonatol*, 60(5), 579-580, 201910, DOI: 10.1016/j.pedneo.2019.06.002, #1.497

1931006 Kosaka T, Ohta G, Kometani H, Kawatani M, Ohshima Y: A case of early myoclonic encephalopathy with intractable seizures successfully treated with high-dose phenobarbital. *Brain Dev*, 41(8), 717-720, 201909, DOI: 10.1016/j.braindev.2019.04.007 (症例報告), #1.756

b. 原著論文（審査無）**c. 原著論文（総説）****d. その他研究等実績（報告書を含む）****e. 国際会議論文**

1931007 Murai H, Itoh N, Yasutomi M, Kawasaki A, Ohshima Y: MiRNA in breast milk may be associated with the development of allergic diseases in breast-fed infants. *EAACI2019*, OA0127, 20190606

1931008 Tajima G, Hara K, Tsumura M, Kagawa R, Utsunomiya A, Okada S, Yuasa M, Hata I, Shigemitsu Y, Yamaguchi S: Neonatal screening for carnitine palmitoyltransferase II deficiency in Japan using (C16+C18:1)/C2 and C14/C3 (P080). *China. Program book*, 27-27, 20190919

1931009 Shigemitsu Y, Yuasa M, Sugihara K, Ikue H, Hata I, Tajima G: A Simple Diagnostic test for carnitine-palmitoyl-transferase I deficiency using tandem mass spectrometer (P079). *China. Program book*, 27-27, 20190919

1931010 Ohta G, Kawatani M, Kosaka T, Takiguchi S, Hiratani M, Ohshima Y: Clinical manifestations of children with neurodevelopmental disorders whose siblings have developmental dyslexia. *15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology*, 20190921

1931011 Kawatani M, Kosaka T, Ohta G, Kometani H, Takiguchi S, Ohshima Y, Tomoda A, Hiratani M: Clinical analysis of children with intermittent explosive disorder. *15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology*, PP242, 20190921

1931012 Kosaka T, Hiratani M, Ohta G, Kometani H, Takiguchi S, Kawatani M, Ohshima Y: Effectiveness of ramelteon for sleep disorder in preschooler with developmental disorders. *15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology*, MP27, 20190921

1931013 Shima H, Kada A, Tanizawa A, Yuza Y, Watanabe A, Ito M, Uryu H, Koh K, Imai C, Yoshida N, Koga Y, Fujita N, Saito AM, Adachi S, Ishii E, Shimada H.: Discontinuation of Tyrosine Kinase Inhibitor in Children with Chronic Myeloid Leukemia (JPLSG STKI-14 study). *Blood*, 134(Supplement 1), 20191113, DOI: 10.1182/blood-2019-122623, #16.601

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

- 1931014** 大嶋勇成：免疫不全症：南学正臣、藤田次郎、三森経世、大田健、平井豊博：内科学書、9版、中山書店、Vol.2 346-351、201908
- 1931015** 山田健太：型にはめる？型を破る？！ケースで学ぶワクチン接種：case1 風疹抗体価が陰性だった25歳の妊婦-妊婦に関連するワクチン-：日馬由貴、奥平正美：レシビプラス、南山堂、90-93、20191001、978-4-525-92194-1
- 1931016** 重松陽介：第2章 タンデムマス・スクリーニング対象疾患
1) タンデムマス検査の概要：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、12-13、20191120
- 1931017** 重松陽介、湯浅光織：第2章 タンデムマス・スクリーニング対象疾患
2) タンデムマス分析とその結果のみかた：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、14-16、20191120
- 1931018** 重松陽介、湯浅光織：第2章 タンデムマス・スクリーニング対象疾患 3) タンデムマスによる2次検査：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、17、20191120
- 1931019** 重松陽介、湯浅光織：第5章 確定診断のための特殊検査
4) タンデムマス分析(LC-MS/MS、血清分析)：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、148-149、20191120
- 1931020** 重松陽介：appendix
1) タンデムマス分析におけるMRMイオン一覧：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、184、20191120
- 1931020** 重松陽介、湯浅光織：appendix
2) おもな診断マーカーのカットオフ参考値(血液濾紙)：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、185、20191120
- 1931021** 重松陽介：appendix
3) 血清アシカルニチン測定の基本値：山口清次：よくわかる新生児マススクリーニングガイドブック、診断と治療社、186、20191120
- 1931022** 大嶋勇成：小児の気管支喘息：福井次夫、高木誠、小室一成：今日の治療指針2020年版、医学書院、1488-1492、202001

c. 編纂・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1931023** 吉野智美、大嶋勇成：BCG接種後に左上腕の真性皮膚結核局所性病変を生じた1例、日本小児皮膚科学会雑誌、39(1)、37-42、20200131
- 1931024** 松田安史、坂井晴香、増永志穂、海老田ゆみえ、小林洋子、大岩加奈、大藏美幸、鈴木孝二、大嶋勇成、浦崎芳正、松原美紀、豊岡重剛、山内高弘：新鮮凍結血漿輸注後に輸血ルート内にひも状フィブリン塊を認めた1例、日本輸血細胞治療学会誌、65(3)、590-594、2019、DOI: <https://doi.org/10.3925/jjtc.65.590>
- 1931025** 野村詠史、前田夢吉、宮永光次、杉原啓一、田中奈々絵、玉村宗一、渡邊康宏、臼居駿也、大嶋勇成：皮膚生検によって診断した組織球性壊死性リンパ節炎の14歳男児例、日本小児皮膚科学会雑誌、38、126-130、2019
- 1931026** 伊藤靖典、長尾みずほ、村井宏生、福家辰樹、手塚純一郎、佐藤さくら、藤澤隆夫、足立雄一：アクティブラーニングを導入した小児アレルギースキルアップコースの学習効果、日本小児アレルギー学会雑誌、33(2)、180-188、2019、DOI: <https://doi.org/10.3388/jspaci.33.180>
- 1931027** 有賀謙、谷口義弘、津田英夫、大嶋勇成：乳児血管腫の肝内病変に対しプロプラノロールが有効であった超低出生体重児の1例、日本小児皮膚科学会雑誌、38(2)、111-115、2019
- 1931028** 清水達人、田口律代、金子修也、谷口義弘、津田英夫：内耳奇形に合併した肺炎球菌髄膜炎の一例、日本小児放射線学会雑誌、35(2)、139-142、2019、DOI: https://doi.org/10.20844/jspr.35.2_139
- 1931029** 池田和美、鈴木孝二、湯浅光織、小坂拓也、宮永光次、伊藤尚弘、吉川利英、嶋田通明、小練研司、五井孝憲、今村好章、谷澤昭彦、大嶋勇成：寛解導入療法中の急性虫垂炎を契機に好中球減少性腸炎、クロストリジウム・ディフィシル腸炎を合併した急性リンパ性白血病に対する治療経験、小児科臨床、72(10)、1538-1542、20191005

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

- 1931030** 大嶋勇成：アレルギー疾患発症予防、臨床と研究、97(3)、345-348、2020
- 1931031** 大嶋勇成：アレルゲン特異的免疫療法の作用機序、実験医学、37(10)、128-134、20190610
- 1931032** 大嶋勇成：アレルギーと免疫療法、チャイルドヘルス、22(7)、486-489、20190626
- 1931033** 畑郁江、湯浅光織、杉原啓一、磯崎由宇子、重松陽介：糖新生障害と遺伝性フルクトース不耐症、小児内科、51(7)、1021-1025、20190701
- 1931034** 安富素子：知っておきたい最新のアレルギー・免疫学用語 濾胞性ヘルパーT (Tfh) 細胞、日本小児アレルギー学会誌、33(2)、242-243、2019、DOI: <https://doi.org/10.3388/jspaci.33.242>
- 1931035** 安富素子：知っておきたい最新のアレルギー・免疫学用語 濾胞性樹状細胞、日本小児アレルギー学会誌、33(2)、240-241、2019、DOI: <https://doi.org/10.3388/jspaci.33.240>

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 1931036** Murai H, Itoh N, Yasutom M, Kawasaki A, Ohshima Y: MiRNA in breast milk may be associated with the development of allergic diseases in breast-fed infants, EAACI2019, OA0127, リスボン、ポルトガル、20190601
- 1931037** Shima H, Kada A, Tanizawa A, Yuza Y, Watanabe A, Ito M, Uryu H, Koh K, Imai C, Yoshida N, Koga Y, Fujita N, Saito AM, Adachi S, Ishii E, Shimada H.: Discontinuation of Tyrosine Kinase Inhibitor in Children with Chronic Myeloid Leukemia (JPLSG STKI-14 study), 61st American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, 米国、Orlando、20191207, Blood, 134(Supplement 1), 20191113

d. 一般講演 (ポスター)

- 1931038** Tajima G, Hara K, Tsumura M, Kagawa R, Utsunomiya A, Okada S, Yuasa M, Hata I, Shigematsu Y, Yamaguchi S: Neonatal screening for carnitine palmitoyltransferase II deficiency in Japan using (C16+C18:1)/C2 and C14/C3 (P080), 10th ISNS International Symposium-11th Asia Pacific Regional Meeting, Hangzhou, , 20190919, China. Program book, 27, 2019
- 1931039** Shigematsu Y, Yuasa M, Sugihara K, Ikuo Hata, Tajima G: A Simple Diagnostic test for carnitine-palmitoyl-transferase I deficiency using tandem mass spectrometer (P079), 10th ISNS International Symposium-11th Asia Pacific Regional Meeting, Hangzhou, 20190919, China. Program book, 27, 2019
- 1931040** Ohta G, Kawatani M, Kosaka T, Takiguchi S, Hiratani M, Ohshima Y: Clinical manifestations of children with neurodevelopmental disorders whose siblings have developmental dyslexia, 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology, Kuala Lumpur, 20190921
- 1931041** Kawatani M, Kosaka T, Ohta G, Kometani H, Takiguchi S, Ohshima Y, Tomoda A, Hiratani M: Clinical analysis of children with intermittent explosive disorder, 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology, Kuala Lumpur, 20190921
- 1931042** Kosaka T, Hiratani M, Ohta G, Kometani H, Takiguchi S, Kawatani M, Ohshima Y: Effectiveness of ramelteon for sleep disorder in preschooler with developmental disorders, The 15th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology, Kuala Lumpur, 20190919

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1931043** 村井宏生、伊藤尚弘、川崎亜希子、大嶋勇成: ミニシンポジウム: 食物アレルギー児を取り巻く社会的環境整備 学校生活管理指導表導入に対する給食主任、栄養教諭の認識の違い、第68回に日本アレルギー学会学術大会、東京、20190614
- 1931044** 川谷正男: 2) 福井県におけるTSC診療のトランジション問題について、第7回 日本結節性硬化症学会
第76回 日本小児神経学会北陸地方会、北陸地域におけるTSC診療、金沢市、20190915、第7回 日本結節性硬化症学会
第76回 日本小児神経学会北陸地方会 (合同開催) プログラム・抄録集、17、201909
- 1931045** 大嶋勇成: プロ・プレバイオティクスによるアレルギー予防は可能か?、第56回日本小児アレルギー学会、千葉市、20191102
- 1931046** 大嶋勇成: 福井県におけるモデル事業、第20回食物アレルギー研究会、アレルギー疾患対策基本法と食物アレルギー診療の均質化、横浜、20200209、食物アレルギー研究会会誌、20(1)

c. 一般講演 (口演)

- 1931047** 谷口義弘、渡邊康宏、玉村宗一、森夕起子、伊藤尚弘、吉川利英、鈴木孝二、谷澤昭彦: 長期のG-CSF投与後にMDS/AMLに移行した先天性好中球減少症の1例、第122回日本小児科学会学術集会、金沢市、20190419
- 1931048** 湯浅光織、畑部江、杉原啓一、磯崎由宇子、重松陽介、大嶋勇成、津村弥来、香川礼子、岡田賢、原圭一、但馬剛: 標識脂肪酸負荷末梢血単核球中のアジカルニチン比による脂肪酸代謝異常症の診断、第122回日本小児科学会学術集会、金沢市、20190419、日本小児科学会雑誌
- 1931049** 但馬剛、原圭一、香川礼子、宇都宮朱里、津村弥来、岡田賢、湯浅光織、畑部江、重松陽介、山口清次: 全国実施が実現したCPT2欠損症スクリーニングの現状報告、第122回日本小児科学会学術集会、金沢市、20190419、日本小児科学会雑誌、123(2)、240、2019
- 1931050** 平谷美智夫、巨田元礼、小坂拓也、川谷正男、滝口慎一郎、大嶋勇成: 幼児期より療育を受け、就学後に発達性ディスレクシアと診断された児童の臨床的特徴、第122回日本小児科学会学術集会、金沢市、20190421、日本小児科学会雑誌、123(2)、245、201902
- 1931051** 巨田元礼、平谷美智夫、小坂拓也、川谷正男、滝口慎一郎、大嶋勇成: 年長児に読字リスクの早期アセスメントを実施した児の小学1年生での読字能力の調査、第122回日本小児科学会学術集会、金沢市、20190421、日本小児科学会雑誌
- 1931052** 小坂拓也、平谷美智夫、巨田元礼、米谷博、滝口慎一郎、川谷正男、大嶋勇成: 発達障害児の睡眠障害に対する年齢と睡眠型によるラメルテオンの有効性の検討、第122回日本小児科学会学術集会、精神・心身、金沢市、20190419、日本小児科学会雑誌、123(2)、245、201904
- 1931047** 玉村宗一、森夕起子、林泰平、宮永光次、野村詠史、渡邊康宏: 経過中に低リン血症と著明なFGF23高値を呈した全身性エリテマトーデス・ループス腎炎の一例、第54回日本小児腎臓学会、大阪、20190607、日本小児腎臓学会誌、32(学術集會号)、168、201905
- 1931051** 林泰平、玉村宗一、森夕起子、大嶋勇成: ネフローゼ症候群として発症し、腎生検にて基底膜の分節状菲薄化と同部位へのEDD沈着を認めたIgA腎炎の一例、第54回日本小児腎臓学会、大阪、20190607、日本小児腎臓学会誌、32(学術集會号)、120、201905
- 1931053** 村井宏生、伊藤尚弘、川崎亜希子、大嶋勇成: 食物アレルギー児を取り巻く社会的環境整備 学校生活管理指導表導入に対する給食主任、栄養教諭の認識の違い、第68回に日本アレルギー学会学術大会、東京、20190614
- 1931054** 清水達人、田口律代、谷口義弘、杉田元気: 潰瘍性大腸炎母体より出生したリステリア敗血症の極低出生体重児の一例、第55回日本周産期・新生児医学会学術集会、長野、20190713、日本周産期・新生児医学会雑誌、55(2)、428、20190630
- 1931055** 奥野貴士、五十嵐愛子、巨田元礼、大嶋勇成: 当院における在胎22週出生児の周産期管理と課題、第55回日本周産期・新生児医学会、松本市、20190713
- 1931056** 五十嵐愛子、奥野貴士、巨田元礼、大嶋勇成: P1カテーテル血管炎の後方視的検討、第55回日本周産期・新生児医学会学術集会、松本市、20190713、日本周産期・新生児医学会雑誌、55(2)、701
- 1931053** 福井玲芽、小泉遼、尾山徳孝、安富素子、大嶋勇成、長谷川稔: ヒドロキシクロキニン硫酸塩が著効したlupus erythematosus tumidusの小児例、第41回日本光医学・光生物学会、富山市、20190719、光と臨床医学2
- 1931057** 重松陽介、湯浅光織: 脂肪酸酸化異常症患者末梢単核細胞を用いた代謝トレーサー研究、第44回日本医用マスペクトル学会年会、名古屋市、20190912、JSBMS Letters 44 (Supp)、80、2019
- 1931058** 湯浅光織、杉原啓一、磯崎由宇子、大嶋勇成、畑部江、飯島弘之、窪田満、市野井那津子、深尾敏幸、重松陽介: タンデムマス・スクリーニングで発見されたβ-ケトチオラーゼ欠損症の2例、第61回日本先天代謝異常学会、秋田市、20191024、日本先天代謝異常学会雑誌、35、159、2019
- 1931057** 但馬剛、原圭一、津村弥来、香川礼子、岡田賢、湯浅光織、畑部江、重松陽介、山口清次: 全国施行が実現したCPT2欠損症マスキリーニングの現状報告、第61回日本先天代謝異常学会総会
第17回アジア先天代謝異常症シンポジウム、秋田市、20191024、日本先天代謝異常学会雑誌、35、161、201909
- 1931058** 加藤泰輔、伊藤靖典、長尾みずほ、村井宏生、福家辰樹、手塚純一郎、佐藤さくら、藤澤隆夫、足立雄一: 第2回小児アレルギー教育セミナー (Pediatric Allergy Skill Up Course: PASCO)による学習評価の検討、第56回日本小児アレルギー学会、千葉市、20191102
- 1931059** 安富素子、村井宏生、川崎亜希子、伊藤尚弘、大嶋勇成: オマリズマブ併用下でダニ経皮免疫療法を完遂した気管支喘息の1例、第56回日本小児アレルギー学会学術大会、幕張市、20191103、日本小児アレルギー学会雑誌、33(4)、591、201910

業績一覧

- 1931060** 嶋晴子、遠野千佳子、谷澤昭彦、渡辺輝浩、伊藤正樹、湯坐有希、浜本和子、村松秀城、岡田雅彦、柳町昌克、吉川利英、石田悠志、慶野大、嶋田博之：CML患者におけるチロシンキナーゼ阻害剤治療による液性免疫への影響（JPLSG CML-08 研究），第61回日本小児血液・がん学会学術集会，一般口演3 AML/CML，広島，20191114，日本小児血液・がん学会雑誌，56(4)，194，20191025
- 1931061** 湯坐有希、谷澤昭彦、渡辺輝浩、伊藤正樹、遠野千佳子、嶋晴子、浜本和子、村松秀城、岡田雅彦、柳町昌克、吉川利英、石田悠志、慶野大、嶋田博之：小児慢性期慢性骨髄性白血病（CML）に対する多施設共同観察研究 CML08：令和元年度急性有害事象に関する報告，第61回日本小児血液・がん学会学術集会，広島，20191114，日本小児血液・がん学会雑誌，56(4)，193，20191025
- 1931062** 安富素子、新田祥代、杉原啓一、西田公一、岡崎新太郎、大嶋勇成：心室中隔欠損閉鎖術後の肺高血圧に対しアンプリセンタン開始後に間質性肺炎を発生したダウン症の1例，第52回日本小児呼吸器学会，鹿児島市，20191115，日本小児呼吸器学会雑誌，30(supplement)，105，201909
- 1931063** 小林弘典、大澤好充、原圭一、山田健治、長谷川有紀、相崎潤子、重松陽介、但馬剛、山口清次、竹谷健：VLCAD欠損症患者の遺伝子型はタンデムマス・スクリーニング導入前後で変化している，第46回日本マススクリーニング学会学術集会，那覇市，20191122，日本マススクリーニング学会誌，29(2)，191，2019
- 1931064** 香川礼子、但馬剛、前田堂子、吉井千代子、宇都宮朱里、原圭一、西村裕、重松陽介：広島におけるメチルマロン酸血症・ホモシチン尿症関連疾患群の新生児スクリーニング試験研究，第46回日本マススクリーニング学会学術集会，那覇市，20191122，日本マススクリーニング学会誌，29(2)，188，201910
- 1931065** 原圭一、但馬剛、岡田賢、湯浅光織、畑郁江、重松陽介、山口清次：マススクリーニング陽性者のCPT2遺伝子診断，第46回マススクリーニング学会，那覇，20191122，日本マススクリーニング学会誌，29(2)，189，201910

d. 一般講演（ポスター）

- 1931066** 山田健太、小坂拓也、齊藤悠、土岐真、松田裕介、山田真平：北陸若手小児科医へ満足度調査から考える～より充実した専門医研修を目指して～，第122回日本小児科学会学術集会，金沢市，20190420，日本小児科学会雑誌，123(2)，425，201902
- 1931067** 小坂拓也、平谷美智夫、巨田元礼、米谷博、滝口慎一郎、川谷正男、大嶋勇成：幼児期の発達障害児に対するラメルテオンの目標内服時刻と内服による入眠時刻の改善度の検討，第61回小児神経学会学術集会，睡眠，名古屋，20190531，脳と発達，51(学術集号)，407，201905
- 1931068** 川谷正男、小坂拓也、巨田元礼、米谷博、大嶋勇成、友田明美、平谷美智夫：ADHDに併存したキレる症状に対するグアンファシンの有効性，第61回日本小児神経学会学術集会，名古屋，20190601，脳と発達，51(学術集号)，S381，201905
- 1931069** 巨田元礼、小坂拓也、米谷博、川谷正男、大嶋勇成：低ガンマグロブリン血症を合併した先天性筋強直性ジストロフィー児に対する免疫グロブリン皮下投与の経験，第61回日本小児神経学会学術集会，名古屋，20190601，脳と発達
- 1931070** 川崎亜希子、伊藤尚弘、村井宏生、安富素子、大嶋勇成：病原性大腸菌O6の感染を契機に乳児消化管アレルギーを発生したと考えられた一例，第68回日本アレルギー学会学術大会，食物アレルギー（消化管アレルギー），東京，20190614，アレルギー，68(4-5)，582，201905
- 1931071** 杉原啓一、湯浅光織、磯崎由宇子、畑郁江、重松陽介、大嶋勇成：教職員対象のアンケートをもとにした1型糖尿病患児の学校生活に必要な支援についての検討，第53回日本小児内分泌学会学術集会，京都，20190926，第53回日本小児内分泌学会学術集会 プログラム・抄録集，226
- 1931072** 新田祥代、安富素子、杉原啓一、伊藤尚弘、岡崎新太郎、西田公一、大嶋勇成：アンプリセンタンが発症契機と思われる間質性肺炎の3歳女児，第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，札幌市，20191004，第29回小児リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集，135，201910
- 1931073** 伊藤尚弘、安富素子、新田祥代、川崎亜希子、長谷川稔、大嶋勇成：低身長に歩行障害と把握障害を伴い若年性全身性強皮症と診断した女児例，第29回日本小児リウマチ学会，札幌市，20191006，133
- 1931074** 大澤好充、小林弘典、原圭一、山田健治、長谷川有紀、相崎潤子、湯浅光織、畑郁江、岡田賢、重松陽介、但馬剛、山口清次、竹谷健：タンデムマス・スクリーニング導入前後におけるVLCAD欠損症患者の遺伝子型に関する検討，第61回日本先天代謝異常学会，秋田市，20191024，日本先天代謝異常学会雑誌，35，198，2019
- 1931075** 巨田元礼、平谷美智夫、榊智史、為国順治、川谷正男、小坂拓也、滝口慎一郎、藤澤隆史、石谷禎孝、松浦直己：読字障害(Developmental Dyslexia: DD)の疫学研究：幼児期から成人までの縦断的研究2～幼児期から療育を受けた児童におけるDDの早期発見に関する研究～，第122回日本小児精神神経学会，福井市，20191103，第122回日本小児精神神経学会プログラム・抄録集，59，20191001
- 1931076** 石谷禎孝、平谷美智夫、榊智史、為国順治、巨田元礼、川谷正男、小坂拓也、滝口慎一郎、藤澤隆史、松浦直己：読字障害(Developmental Dyslexia: DD)の疫学研究：幼児期から成人までの縦断的研究 中学生時代における学習成績とメンタルヘルスの問題，第122回日本小児精神神経学会総会，福井市，20191103，第122回日本小児精神神経学会プログラム・抄録集，59，201911
- 1931077** 福岡諒、鈴木孝二、林泰平、五十嵐愛子、有賀謙、吉川利英、巨田元礼、谷澤昭彦、大嶋勇成：GVHD方向2アレル不一致の父親から末梢血幹細胞移植を行った先天性白血病治療中再発例，第61回日本小児血液・がん学会学術集会，造血細胞移植/その他白血病，広島，20191114，日本小児血液・がん学会雑誌，56(4)，321，20191025
- 1931078** 吉川利英、清水沙知、伊藤尚弘、有賀謙、鈴木孝二、谷澤昭彦、田村知史、巨田元礼、大嶋勇成：再発急性リンパ性白血病に対する骨髄移植の3か月後に発生した薬剤性心筋症の一例，第61回日本小児血液・がん学会学術集会，ポスター8 合併症/支持療法，広島，20191115，日本小児血液・がん学会雑誌，56(4)，302，201910
- 1931079** 平谷美智夫、榊智史、為国順治、巨田元礼、川谷正男、小坂拓也、滝口慎一郎、藤澤隆史、石谷禎孝、松浦直己：読字障害(Developmental Dyslexia: DD)の疫学研究：幼児期から成人までの縦断的研究 クリニックでDDと診断された児童308例の背景因子，第122回日本小児精神神経学会総会，福井市，20191103，第122回日本小児精神神経学会プログラム・抄録集，58，201911
- 1931080** 川谷正男、杉原啓一、小坂拓也、巨田元礼、井川正道、畑郁江、大嶋勇成：未成年の保因者検査の是非～副腎白質ジストロフィーの症例を通じて～，第64回日本人類遺伝学会，長崎市，20191107，日本人類遺伝学会第64回大会プログラム・抄録集，315，201911
- 1931081** 川谷正男、小坂拓也、巨田元礼、友田明美、平谷美智夫：福井県の小・中学校における「キレる子ども」の実態調査，第122回日本小児精神神経学会総会，福井市，20191103，第122回日本小児精神神経学会プログラム・抄録集，57，201911
- 1931082** 有賀謙、松尾星弥、鈴木孝二、吉川利英、巨田元礼、安富素子、谷澤昭彦、大嶋勇成：プリナツモマブ投与中に間質性肺炎を合併した再発急性リンパ性白血病のダウン症児の経験，第61回日本小児血液・がん学会学術集会，広島，20191115，日本小児血液・がん学会雑誌，56(4)，306，20191025
- 1931083** 小坂拓也、巨田元礼、滝口慎一郎、川谷正男、友田明美：アクテグラフによる幼児期の自閉スペクトラム症児と定型発達児の睡眠動態の比較，第122回小児精神神経学会，福井市，20191102，第122回日本小児精神神経学会プログラム・抄録集，55

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

- 1931084** 大嶋勇成：食物アレルギーのup-to-date，第1回日本アレルギー学会北陸地方会，金沢市，20191124

b. シンポジスト・パネリスト等

業績一覧

c. 一般講演 (口演)

- 1931085** 安竹千秋、鯉江祐介、野々山忠芳、今中美山子、高山マミ、渡部雄大、嶋田誠一郎、高橋藍、山口朋子、坪川操、松峯昭彦、川浪春菜、山田健太：右乗用無気肺と肺炎を呈した幼児に対して理学療法を施工した一例、第12回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会北陸支部学術集会、金沢市、20190601
- 1931086** 田尾克生、石原靖紀、大嶋勇成：分娩様式が新生児の経時的な心機能変化に与える影響の検討、第326回日本小児科学会北陸地方会、吉田郡、20490609
- 1931087** 野村詠史、清水沙知、宮永光次、前田夢吉、玉村宗一、渡邊康宏、杉原啓一：夏季に発症した発作性寒冷色素尿症の1例、第326回日本小児科学会北陸地方会、吉田郡、20190609
- 1931088** 新田祥代、杉原啓一、小坂拓也、湯浅光織、吉川利英、巨田元礼、鈴木孝二、川谷正男、大嶋勇成、谷口義弘、畑郁江：小児大脳型副腎白質ジストロフィー進行例に対し臍帯血移植を行った7歳男児例、第326回日本小児科学会北陸地方会、吉田郡、20190609
- 1931089** 新田祥代、小坂拓也、巨田元礼、川谷正男、大嶋勇成：脳死状態に至ったけいれん重積型急性脳症の1歳女児例、2019年度日本小児神経学会北陸地方会 夏季セミナー (第9回白山セミナー)、氷見市、20190803、2019年度日本小児神経学会北陸地方会 夏季セミナー (第9回白山セミナー) 事前抄録集・プログラム、201908
- 1931090** 小坂拓也、新田祥代、杉原啓一、巨田元礼、米谷博、川谷正男、大嶋勇成：自閉スペクトラム症としての経過中に精神運動退行を呈した7歳男児、日本小児神経学会北陸地方会 夏季セミナー (第9回白山セミナー)、氷見市、20190803
- 1931091** 杉原啓一、湯浅光織、磯崎由宇子、畑郁江、重松陽介、大嶋勇成：アンケート調査をもとにした1型糖尿病患児の学校生活に必要な支援に関する検討、第55回中部日本小児科学会、富山市、20190825
- 1931092** 堀江潤、牛田英里、奥村陽介、水谷健佑、伊藤雄彦、小林舞、櫻井直人、山口佳子、大森雄介、西森久史、太田穂高、杉山謙二、湯浅光織、重松陽介：部活動後の横紋筋融解症を契機に診断した筋型カルニチントランスフェラーゼII (CPT2) 欠損症の1例、第55回中部日本小児科学会、富山市、2190825
- 1931093** 川浪春菜、有賀謙、鈴木孝二、吉川利英、山内諒子、山田しず佳、山本 真、黒川哲司、今村好章、巨田元礼、大嶋勇成：診断時に両側胸水を伴った卵巣未成熟奇形腫の治療方針に関する検討、第50回北陸小児病講演会、金沢市、20190914
- 1931094** 玉村宗一、清水沙知、野村詠史、渡邊康宏、前田夢吉、森由起子、林泰平：初診時の尿異常が軽微であったびまん性増殖性ループス腎炎の1例、第20回日本小児科学会福井地方会、福井市、20191109
- 1931095** 山田健太、巨田元礼、吉川利英、大嶋勇成：敗血症様症状と著明な腹部膨満を呈したヒトパレコレウイルス3型の乳児例、第20回日本小児科学会福井地方会、福井市、20191109
- 1931096** 伊藤尚弘、新田祥代、川崎亜希子、村井宏生、安富素子、大嶋勇成：当院での食物経口負荷試験における安全性の検討、第1回日本アレルギー北陸地方会、金沢、20191124
- 1931097** 福岡諒、鈴木孝二、山田健太、安富素子、小坂拓也、巨田元礼、大嶋勇成、原慶和：ヒトパルボB19感染により無形成発作を呈した葉酸欠乏症男児、第327回日本小児科学会北陸地方会、金沢市、20191208
- 1931098** 出口沙知、山田健太、村井宏生、鈴木孝二、谷澤昭彦、大嶋勇成、伊藤知美、今村好章、福井玲芽、長谷川稔：難治性尋常性ざ瘡として加療されていた種痘様水疱症の思春期前男子、第327回日本小児科学会北陸地方会、金沢市、20191208
- 1931099** 山崎大輔、有賀謙、谷口義弘、松尾星弥、前田夢吉、榎原康久、酒井武彦、田口律代、畑郁江、野坂和彦、杉原啓一、吉川利英、鈴木孝二：低身長、中枢性尿崩症を発症し髄液検査 (PLAP、hCG-β、AFP) から診断した下垂体胚腫 (germinoma) の一例、第327回日本小児科学会北陸地方会、金沢市、20191208
- 1931100** 佐野正太郎、吉川利英、小坂拓也、巨田元礼、鈴木孝二、川谷正男、大嶋勇成：中枢神経病変を合併したEB V関連移植後リンパ増殖症の治療経験、第77回日本小児神経学会北陸地方会、金沢市、20200202

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1931101** 大嶋勇成：食物アレルギーの新規治療を目指して、第25回愛媛小児アレルギー懇話会、松山市、20191019
- 1931102** 大嶋勇成：食物アレルギーの管理と治療、坂井地区薬剤師会10月勉強会、坂井市、20191024
- 1931103** 大嶋勇成：アレルギーマーチと発症予防、第2回倉敷アレルギーフォーラム、倉敷市、20191031
- 1931104** 大嶋勇成：「授乳・離乳の支援ガイド」の改訂のポイントと食物アレルギーの予防と対策、第64回福井県小児保健協会学術集会、永平寺町、20200211
- 1931105** 川谷正男、小坂拓也、巨田元礼、友田明美、平谷美智夫：キレル子どもの現状と課題 ～グアンファシンの効果について～、2019年度福井県子どもこころの臨床研究会、福井市、20190412

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 1931106** 湯浅 光織、杉原啓一、磯崎由宇子、畑郁江：当院におけるSGA性低身長症の診療、第2回北陸新生児研究会、福井、20190601
- 1931107** 有賀謙、吉川利英、巨田元礼、鈴木孝二、谷澤昭彦：プリナツモマブ投与時のサイトカイン放出症候群によると考えられる間質性肺炎・疼痛を認めた再発ALLの症例、第14回京都地区小児血液腫瘍研究会、京都、20190727
- 1931108** 吉川利英：半減期延長型VII因子製剤を使用している血友病の症例、ヘムライブラ適正使用セミナーin福井、福井、20190823
- 1931109** 伊藤尚弘、吉川利英、谷澤昭彦、鈴木孝二、島田舞子、中林結子、山口愛奈、今村好章、稲井邦博、清水達人、熊野麻美、大嶋勇成：気管支喘息様症状を契機に大細胞型B細胞性リンパ腫の診断に至ったAtaxia-telangiectasia女子例の治療経験、第9回関西免疫不全症研究会、大阪、20190924

業績一覧

1931110 有賀謙、鈴木孝二、安富素子、吉川利英、巨田元礼、谷澤昭彦、大嶋勇成：末梢血幹細胞移植後の再発ALLに対するプリナツモマブの使用経験、第5回小児血液・がん症例検討会in中部、福井、20191008

1931111 川浪春菜、清水達人、奥野貴士、五十嵐愛子、大嶋勇成：新生児遷延性肺高血圧と副腎皮質過形成症を合併した女児例、第33回北陸周産期新生児研究会、福井、20191020

1931112 有賀謙、鈴木孝二、川浪春菜、吉川利英、巨田元礼、大嶋勇成、小練研司、成瀬貴之、五井孝憲、米元菜採、今村好章：著明な肝腫大を伴う乳児神経芽腫の治療方針に関する検討、第51回北陸小児癌症例検討会、金沢市、20200222

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

1931113 巨田元礼：小児てんかん診療の新たな選択肢～ラコサミドへの期待～、小児てんかんセミナー～Lacosami de sharing session in 福井～、福井市、20200306

f. その他

1931114 大嶋勇成：小児科領域の現状と課題、SANOFI Asthma Forum in Hokuriku, 成人・小児科各領域における喘息治療の現状と治療戦略、金沢、20200215

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脂肪酸酸化異常症代謝プロファイル解析による高精度診断法の確立	湯浅 光織		2019	1300000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脂肪酸酸化能検査法を応用した長鎖脂肪酸酸化異常症の重症度・治療有効性判定法の確立	杉原 啓一		2019	1430000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	ナノ粒子を用いた薬物輸送システムの開発：神経芽腫がん細胞の分化誘導療法	吉川 利英		2019	1690000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	胎児・新生児期の生体リズム評価による自閉スペクトラム症の病態解明	小坂 拓也		2019	910000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	皮膚免疫応答の制御による、食物アレルギーの感作抑制と免疫療法への応用	川崎 亜希子		2019	0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	選択的オートファジーが気管支喘息発症の病態におよぼす役割	村井 宏生		2019	1950000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	食物アレルギーに対する経皮免疫療法とアジュバントの開発	大嶋 勇成		2019	1560000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	キレる子どもの神経基盤の解明と有効な包括的対支援システムの構築	川谷 正男		2019	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	発達性ディスレクシアの神経基盤の解明と早期発見・介入の試み	巨田 元礼		2019	1170000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	ナノ粒子を用いた分化誘導療法による新たな神経芽腫治療法の開発	鈴木 孝二		2019	1040000
学内競争的資金	令和元年度育成経費	ナノ粒子とマイクロビオームを活用した食物アレルギーの新規経皮免疫療法	伊藤 尚弘		2019	400000

(B) 要学審附金

受入件数	15
受入金額	6307245

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（全国レベル）	主催者	第20回食物アレルギー研究会	20200209-20200209	横浜市
国内学会（地方レベル）	主催者	第1回日本アレルギー学会北陸地方会	20191124-20191124	金沢市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本小児科学会	中部地区資格認定委員会委員（その他）	大嶋勇成
日本小児科学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児科学会	代議員	大嶋勇成
日本小児科学会福井地方会	会長（その他）	大嶋勇成
日本小児科学会北陸地方会	委員（その他）	大嶋勇成
福井県小児保健協会	副会長（その他）	大嶋勇成
日本アレルギー協会	北陸支部長（その他）	大嶋勇成
国際喘息学会日本・北アジア部会	幹事（その他）	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	学術委員会委員（その他）	大嶋勇成

業績一覧

日本小児呼吸器学会	情報処理委員会委員 (その他)	大嶋勇成
日本小児呼吸器学会	地区運営委員 (その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	将来計画委員長 (その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	食物アレルギーガイドライン委員会委員 (その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	利益相反委員会委員 (その他)	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	理事	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	評議員	大嶋勇成
日本小児アレルギー学会	免疫療法WG委員会委員 (その他)	大嶋勇成
日本アレルギー学会	編集委員	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医試験作成委員長 (その他)	大嶋勇成
日本アレルギー学会	専門医制度委員 (その他)	大嶋勇成
日本アレルギー学会	代議員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	運営委員 (その他)	大嶋勇成
日本小児感染症学会	編集委員	大嶋勇成
日本小児感染症学会	理事	大嶋勇成
日本小児感染症学会	評議員	大嶋勇成
日本骨髓バンク	調整医師 (その他)	谷澤昭彦
日本小児がん研究グループ	血液腫瘍分科会CML委員会委員長 (その他)	谷澤昭彦
日本造血細胞移植学会	慢性骨髄性白血病 (CML) / 骨髄増殖性腫瘍 (MPN) 【小児】ワーキング (その他)	谷澤昭彦
北陸小児救急・集中治療研究会	世話人 (その他)	畑郁江
福井糖尿病療養指導研究会	理事	畑郁江
日本人類遺伝学会	評議員	畑郁江
日本先天代謝異常学会	評議員	畑郁江
福井県小児保健協会	理事	川谷正男
日本小児神経学会北陸地方会	幹事 (その他)	川谷正男
日本小児神経学会	アーカイブ小委員会委員 (その他)	川谷正男
日本小児神経学会	ホームページ委員会委員 (その他)	川谷正男
日本小児神経学会	評議員	川谷正男
日本人類遺伝学会	評議員	川谷正男
日本小児アレルギー学会	疫学調査WG委員 (その他)	安富素子
日本骨髓バンク	調整医師 (その他)	鈴木孝二
未熟児新生児医療研究会	世話人 (その他)	奥野貴士
北陸周産期新生児研究会	世話人 (その他)	奥野貴士
日本小児アレルギー学会	評議員	村井宏生
日本小児アレルギー学会	小児アレルギー教育セミナーWG委員 (その他)	村井宏生
日本小児アレルギー学会	喘息治療・管理ガイドラインSR委員 (その他)	村井宏生

(G) 座長

国内学会	学会名	氏名
一般講演 (ポスター)	第122回日本小児科学会学術大会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第122回日本小児科学会学術大会 教育講演	大嶋勇成
招待・特別講演等	第326回日本小児科学会北陸地方会 教育講演	大嶋勇成
招待・特別講演等	第68回日本アレルギー学会学術大会 教育講演	大嶋勇成
シンポジウム等	第68回日本アレルギー学会学術大会 シンポジウム	大嶋勇成
シンポジウム等	第68回日本アレルギー学会学術大会 ミニシンポジウム	大嶋勇成
シンポジウム等	第68回日本アレルギー学会学術大会 イブニングシンポジウム	大嶋勇成
招待・特別講演等	第68回日本アレルギー学会学術大会 招請講演	大嶋勇成
招待・特別講演等	第43回日本小児皮膚科学会学術大会	大嶋勇成
一般講演	第28回国際喘息学会日本・北アジア部会	大嶋勇成
シンポジウム等	第56回日本小児アレルギー学会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第56回日本小児アレルギー学会	大嶋勇成
招待・特別講演等	第52回日本小児呼吸器学会	大嶋勇成

業績一覧

招待・特別講演等	第46回北陸アレルギー研究会	大嶋勇成
一般講演（口演）	第61回日本小児神経学会総会	川谷正男
一般講演（口演）	2019年度日本小児神経学会北陸地方会 夏季セミナー（第9回白山セミナー）	川谷正男
一般講演（ポスター）	第68回日本アレルギー学会学術大会	安富素子
一般講演（口演）	第20回日本小児科学会福井地方会	安富素子
一般講演（口演）	ヘムライブラ皮下注適正使用セミナー in FUKUI	鈴木孝二
一般講演（口演）	北陸小児病講演会	鈴木孝二
一般講演（口演）	日本小児科学会福井地方会	巨田元礼
シンポジウム等	福井県総合周産期勉強会	奥野貴士
一般講演（口演）	第19回日本小児科学会福井地方会	吉川利英
一般講演（口演）	第33回北陸周産期・新生児研究会	五十嵐愛子
一般講演（口演）	第20回日本小児科学会福井地方会	五十嵐愛子
一般講演（口演）	第326回日本小児科学会北陸地方会	川崎亜希子
一般講演（口演）	第34回北陸小児内分泌研究会	湯浅光織

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
日本小児アレルギー学会	編集委員長	大嶋勇成
日本小児皮膚科学会	編集委員	大嶋勇成
Pediatr Int	編集委員	大嶋勇成
Allergol Int	編集委員	大嶋勇成
日本小児耳鼻咽喉科学会		大嶋勇成
日本小児呼吸器学会		大嶋勇成
小児感染症免疫		大嶋勇成
日本小児皮膚科学会		大嶋勇成
JMA Journal		大嶋勇成
Clin Exp Allergy		大嶋勇成
Curr Mol Med		大嶋勇成
Pediatr Int		大嶋勇成
Int Arch Allergy Immunol		大嶋勇成
Front Pediatr		大嶋勇成
Pediatr Allergy Immunol		大嶋勇成
Allergol Int		大嶋勇成
J Allergy Clin Immunol		大嶋勇成
脳と発達		川谷正雄
Journal of Ethnopharmacology		安富素子
Pediatrics International		安富素子
日本小児アレルギー学会雑誌		安富素子

(E) その他

1931115
1931116
1931117
1931118
1931119
1931120
1931121

大嶋勇成：「鼻の日」控え 4日に保健大会 福井大病院など（県民），20190802
 大嶋勇成：「鼻の日（8月7日）」ちなみ アレルギー疾患理解 福井会議所ビル 保健大会に60人」（福井），20190806
 大嶋勇成：ふくいのドクター相談室 子どもの咳が心配、肺炎との関係は？（福井），20190606
 鈴木孝二：おじゃまっテレ健康いちばん「骨髄移植をした小児がん患者における摂取済みワクチンの再接種について」（FBC），20190312
 山田健太：ふくいのドクター相談室 手足口病何度もかかる？（福井），20190801
 小坂拓也：こどもの体元気ガイド（福井新聞），「りんご病」，20191013
 伊藤尚弘：こどもの体元気ガイド（福井新聞），嘔吐下痢，20190822